

第37回 つり草、商品棚

電車・バスで立っている時に掴まる「つり草」の高さは、国土交通省のガイドラインで「客室用途と利用者の身長域(特に低身長者)に配慮する」とある。2003年の(社)人間生活工学研究センターの「日本人の人体計測データ」ではつり草の高さは設置場所によって1800~1550



星川 安之氏

工夫次第で「高さの壁」なくす

である。八百屋、和菓子屋などの個人商店では、平台においてある店が多。棚があったとしても、注文すれば店の人が商品をとってくるので、不都合は起こりにくい。一方スーパーマーケットやコンビニエンスストアで買い物をする時の商品棚の高さは、高齢者が椅子使用者、低身長者がある。共用品推進機構が椅子使用者に行った調査では、「スパーやコンビニで、棚の高いところにある物を購入しようとする」と見ると、周りの人が取ってくれるように

「段ごとに飲料の種類を交えるのではなく、右端1列は水、2列目はお茶と、いったように並べると、背の高さに関わりなく誰もが取ることが出来る。高さの壁も、工夫次第では壁でなくなる一例である。」

東京2020五輪・パラリンピックの選手村の食堂に設置された飲料の棚は7段になっていて、上の物は椅子使用者には届かない。けれど、棚の高いところにある商品は、椅子使用者には届かない。



星川 安之 (ほしかわ やすゆき)
公益財団法人共用品推進機構 専務理事
年齢の高低、障害の有無に関わらず、より多くの人が使え、サービス、「共用品・共用サービス」と名付け、その普及活動を、玩具からはじめ、多くの業界並びに海外にも普及活動を行っている。著書に「共用品という思想」岩波書店 後藤芳一・星川安之共著他多数

ミャンマー人材特化の採用支援

アルバイトタイムス SNSに10万フォロワー



HRC 事業本部 竹下昌利 外国人採用支援部長

事業について。竹下 在日人材の特定技能ビザの活用で介護・福祉業界の人材採用難の解決を目指すサービスです。先月から在日ミャンマー人材

求人情報サイトの運営などを行っているアルバイトタイムス(東京都中央区)は在日ミャンマー人材採用支援サービスに注力している。同サービスは長年ミャンマーに特化して事業運営しており、短期間で入社までサポートできる点が特徴だという。HRC事業本部の竹下昌利外国人採用支援部長に話を聞いた。

採用支援サービスの名称を「Achieve Myanmar(アチーブ ミャンマー)」としています。——いつから始めたのか。竹下 2013年からミャンマーに関する事業を準備し、14年にミャンマー連邦共和国内に現地法人のミラクを設立しました。ミャンマー人材の来日人口

増加に伴い、15年から日本国内でも在日ミャンマー人材採用支援事業を開始し、19年の特定技能ビザ新設をきっかけに介護・福祉分野で多数の採用支援を行っています。——介護分野の活動について。竹下 特定技能「介護」に対し、20年から本格的に活動しています。当初は留学生や就職活動生を主な対象として



4年に2回ミャンマーフェア開催

介護・福祉業界への就労を目指すミャンマー人材の内訳は、今春卒業予定の留学生が約3割、留学卒業後の就職活動生が約3割、技能実習からの切替えが約3割となっています。特に留学経験者は日本での長期滞在を指して留学しているた

め、介護福祉士の国家資格を取得して介護ビザ取得、その後の永住ビザ取得を目指して頑張る人が多数います。——現場の声は。竹下 介護施設の採用担当者からは「文法の並びが日本語と類似しているため日本語習得が早い」「仏教の教えの影響で年配者に対する尊敬の思いが強い」といった評価をいただ

ることが多いです。また、日本での生活習慣が2年以上ある在日人材のため、日本の文化や生活などに慣れているのも採用における利点です。——ミャンマーとのつながりについて。竹下 ミャンマーに特化して事業運営してきたため、現在ではFacebookに10万人以上のフォロワーがいます。Facebookを窓口にして、求人情報の配信、就職・転職イベントや相談会の開催を定期的に行っています。また、SNSだけのつながりだけではなく、独占支援しているボランティア団体MA SBO(マスポー)と連携し、在日ミャン



使いやすいサイズ感



宮本 威信 社長

持ち運び容易なオゾン発生装置
メカニカル技研 間欠運転機能搭載
空間除菌装置や生産設備などの企画・提案をしているメカニカル技研(東京都町田市)は昨年、オゾン発生器「オゾンデ」を販売している。同製品は卓上型で軽量のため、どこでも使いやすいという。宮本威信社長は「本製品は医療機関での使用を想定しているた

東京マツシマ 松村一夫 俺の生き様

万象肯定 万象感謝

松村 一夫

「学校を出ていない私が、電話帳に乗っていない奇異な世界に飛び込んだ」
「商売とは買い手が喜んでたくさんのおカネを支払ってくれること」
「人間、倍働くことはできない、せいぜい1.2倍くらい、お前と同じ考えのやつを10人作れば10倍、100人作れば100倍になる」

ばんしょうこうてい ばんしょうかんしゃ

万象肯定 万象感謝

東京マツシマ 松村一夫 俺の生き様 松村一夫 著

万象肯定が会社発展の原動力に
万象感謝の心が創業者を支えた

高齢者住宅新聞社 発行の書籍

松村一夫 著 定価1,000円(税込) [送料1冊275円(税込)]

ご購入・お問い合わせ先

株式会社高齢者住宅新聞社
〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15

TEL.03-3543-6852
FAX.03-3543-6853
info@koureisha-jutaku.com

2021年6月1日発売
コロナ禍のすべての経営者に!

主な内容

- モーター時代の到来
- 都心のラブホテルを次から次へと獲得
- アイネグループの思い出
- 「ホテル赤い靴」の誕生
- オロナミンCと私
- 商品開発の思い出
- ・シャワーキャップ編・液体せっけん編
- ・ボディスポンジ編・化粧品編
- 創業者松島忠のハチャメチャ語録 他